

昭和興産タイランド

調味料原料など食品拡大

昭和興産のタイ現地法人、昭和興産タイランド(有賀秋男M.D.)は顧客満足を第一にニーズに合った商材を紹介、事業拡大を続けている。最近では食品事業



有賀秋男 M.D.

に注力、期待が高まる。また日本企業と現地OEM先とのマッチングビジネスも成果が出始めてきた。さらに今期はISO9001認証も取得、拡大に弾みが付いており、8期連続の増収記録更新を狙う。

昭和興産タイランドは昭和興産のコアである、化学品や合成樹脂、食品原料、電機・電子材料、産業資材などをタイ市場で展開する。とくに食品原料では調味料原料などを扱い実績も上がり、売上高の2割に拡大している。

以前は日本から輸入していたが、現地調達化の流れから現在はタイをはじめ中国、マレーシアなど近隣諸国からの仕入れが増えている。仕入れた製品は各工業団地に計10力所ある営業倉庫を活用、在庫・販売管理することで顧客のコスト削減とタイムリーな供給を実現している。現在、販売先は約130社、仕入れ先も約130社まで拡大しているという。最近では昭和興産

と連携、日本で生産を諦めるメーカーに対し現地OEMメーカーを紹介するマッチングビジネスも軌道に乗り始めてきた。

商社機能としてもBOI、IPOの資格を取得し、今年5月にはISO9001認証も登録、名実ともに信頼性は高まってきた。基本的なベースも整ってきたことから今後はより事業を安定化すべく領域拡大も視野に入れていく。将来的には売上高50億円もターゲットに置くなり、タイ現法のプレゼンスを高めていく。